

店舗にすることができた。

オープン後は、撮影やボディージュエリーのイベント発注が多く入り、休みが取れないくらい盛況となった。ボディージュエリースクールの生徒も集まり、また、新

しいカウンセリング法の資格取得スクールとセッションという新メニューも人気が高まり、予約も多く取れるなど順調なスタートを切ることができた。



施術例

調査班によるまとめ

女性に焦点を当てた新しい施策

同市は創業支援事業計画の策定にあたって従来から行ってきた支援活動に加え、女性による創業に力点を置いた支援を追加した。その結果、女性創業者が誕生している。

その女性による創業を意図した新しい取り組みと、従来からの取り組みについて触れたい。

(1) 女性起業家支援事業

同市では、「平成22年度女性起業家実態調査」（経済産業省）を参考に、小規模な開業資金で事業化を目指す女性を対象とした新たな創業支援施策を検討した。

同調査によると、女性が起業する時の課題として最も多く挙げられたのは「経営に関する知識・ノウハウの不足」だった。また、欲しかった支援として多かった回答は、「同じような立場の人との交流の場」であった。

そこで同市は、女性を対象にセミナーとサロン形式の交流会・ワークショップを実施することにした。平成27年度に実施した「さがみはら女性起業家のたまご応援セミナー」（初級：5回コース、実践編：2回コース）を相模原商

工会議所へ委託し、「さがみはら女性のための創業サロン」（交流会・ワークショップ）を相模原市産業振興財団へ委託し、実施した。

また、同財団は、女性起業家向けの3回のセミナーと市民まつりでのブース出店をセットにした「女性起業家ステップアップ講座」を企画し、創業段階にある女性起業家の準備を支援している。

これらの取り組みは、創業までに必要な知識を学べると同時に、参加者同士が交流を図れる仕組みになっている。

(2) チャレンジショップ支援事業

同市では、平成12年度から「チャレンジショップセミナー」と「チャレンジショップ奨励金交付事業」で構成される「チャレンジショップ支援事業」（旧商店街トッパー育成事業）を実施してきた。

「チャレンジショップセミナー」は、事業計画の作成方法や開店準備の進め方、PR方法など具体的な創業前の準備作業について学ぶ講座で、同市と相模原商工会議所が協同で実施している。「チャレンジショップ奨励金交付事業」は専門家によるアドバイスが無料で受けられるとともに、賃借料の50%以内（最大2年間、上限月10万円）の奨励金の交付が受けられる内容となっている。

事例で紹介した小松さんは、「さがみはら女性起業家のたまご応援セミナー」と「チャレンジショップ支援事業」を活用して創業した創業者である。

同市は従来より創業支援に取り組んできた経緯から、それぞれの支援機関が培ってきた経験と特性を活かして、最も得意とする支援メニューを創業者の状況に応じて、役割を分担し提供すると共に、支援ニーズに応じて支援メニューを増やしてきた。同市と同様に、既に創業支援に取り組んできた経験を持つネットワークにとっては、一つの参考となるかもしれない。